



平成 22 年 2 月 23 日

## 社会的ニーズに対応した医学科教育の推進

### 概要：

文科省による平成 22 年度の医学科入学定員改革の枠組をみても明らかなように、医学科教育に求められている社会的ニーズの一つは地域医療教育です。また、臨床研修制度の見直しに伴い、医学科 5，6 年次の臨床実習の改革が求められています。

医学部医学科ではこのようなニーズに対応し、本年創立 140 周年を迎える伝統を基盤に、下記のような教育改革を推進しています。

岡山大学医学部医学科では、社会的ニーズに対応した医学教育、すなわち「緊急医師確保対策」に基づく地域医療教育の導入と「臨床研修制度の見直し等を踏まえた医学教育の改善に対する提言」を受けた臨床実習の見直しを行い、系統的な教育改革を推進しています。

- 1) 地域医療教育は、地域枠学生を対象に早期地域医療実習を行い、その経験を全学生で共有するシンポジウムを公開で行いました（2 月 16 日）。シンポジウムには協力病院の病院長をお招きして次年度以降の取り組みへの積極的な提言がなされました。

（添付資料 1）

- 2) 全国共用試験に合格した医学科学生を Student Doctor に認定します（3 月 26 日）。5 年次の 1 年間を「基本臨床実習」にあて、全診療科を回ります。6 年次はアドバンス選択実習を導入し、4 週間 x 4 コースをかけて多くの医療技術を身に付けてもらう新たな臨床実習カリキュラムを導入します。（添付資料 2）

### <お問い合わせ>

岡山大学医学部長・許 南浩

教務委員長・松川昭博

（電話&FAX番号）086-235-7141

（Email）amatsu@md.okayama-u.ac.jp